



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月4日

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4188 URL <https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 越智 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 清水 治 (TEL) (03) 6748-7120
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第2四半期	1,504,816	△17.7	54,639	△58.2	△28,126	—	△39,924	—	△49,687	—	△12,624	—
2020年3月期 第2四半期	1,827,690	△2.9	130,758	△30.1	130,557	△29.6	101,711	△30.8	81,318	△32.4	26,833	△86.4

(参考) 税引前四半期利益 2021年3月期第2四半期 △36,800百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 122,428百万円 (△33.1%)

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当り 四半期利益	希薄化後1株当り 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△34.99	△34.99
2020年3月期第2四半期	57.27	52.76

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,079,198	1,413,571	1,122,042	22.1
2020年3月期	5,132,149	1,450,829	1,170,222	22.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	12.00	32.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当り 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,175,000	△11.3	140,000	△28.1	4,000	△97.2	△34,000	—	△59,000	—	△41.54

(参考) 税引前利益 通期 △16,000百万円 (—%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社、除外 1社(社名) エムエイチシーエス㈱

特定子会社であったエムエイチシーエス㈱は、2020年7月1日付で当社の子会社であるクオリカプス㈱に吸収合併されたことにより、消滅しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,506,288,107株	2020年3月期	1,506,288,107株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	86,035,904株	2020年3月期	86,230,066株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,420,148,376株	2020年3月期2Q	1,419,931,534株

当社は、役員報酬BIP信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2020年3月期末 3,183,648株、2021年3月期2Q末 3,090,776株)は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(セグメント情報)	P. 13
(重要な後発事象)	P. 15
(説明資料) 2021年3月期 第2四半期決算説明	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当社グループの当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日：以下同じ)における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、自動車用途を中心に需要が前年同期比で低調に推移し、足元で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が継続しています。

このような状況下、売上収益は、前年同期(2019年4月1日～2019年9月30日：以下同じ)に比べ3,229億円減(△17.7%)の1兆5,048億円となりました。利益面では、コア営業利益は同762億円減(△58.2%)の546億円、営業利益(△損失)は非経常項目においてヘルスケア分野に関連する減損損失等を計上したことにより同1,587億円減の△281億円、税引前四半期利益(△損失)は同1,592億円減の△368億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益(△損失)は、同1,310億円減の△497億円となりました。

(分野別の概況)

当第2四半期連結累計期間の分野別の業績の概要は次のとおりであります。

なお、セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

【機能商品分野】

機能商品セグメント

売上収益は前年同期に比べ933億円減少し4,736億円となり、コア営業利益は同186億円減少し215億円となりました。

機能部材サブセグメントにおいては、足元で持ち直しの動きがみられるものの自動車用途を中心に需要が弱含む中、高機能成形材料の高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量が減少したことにより、売上収益は減少しました。

機能化学サブセグメントにおいては、高機能ポリマーの機能性樹脂をはじめとして、総じて自動車向けの販売数量が減少したことに加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理の影響により販売数量が減少したことにより、売上収益は減少しました。

当セグメントのコア営業利益は、高機能ポリマーのフェノール・ポリカーボネートチェーンにおける定期修理の影響に加え、高機能成形材料の高機能エンジニアリングプラスチックや高機能ポリマーの機能性樹脂をはじめとして、総じて自動車向けの販売数量が減少したこと等により、減少しました。

当第2四半期連結累計期間に当セグメントにて実施または発生した主な事項は、以下のとおりです。

- 三菱ケミカル㈱は、コンタクトレンズ原料や抗菌剤などのケイ素化合物、半導体プリカーサー等に用いられる金属化合物等の領域において、高度な分子設計・合成技術を保有するGelest社(本社：米国・ペンシルバニア州)を買収することを2020年4月に決定し、同年10月に連結子会社としました。同社の広範な知見と、三菱ケミカル㈱の技術、経営資源、顧客ネットワーク等を組み合わせることで、提供可能なソリューションの大幅な拡充を目指します。
- 三菱ケミカル㈱と宇部興産株式会社(本社：東京都港区)は、2020年3月に発表した電解液事業の統合について、両社の同事業に関する資産を合弁新社(社名：MUアイオニックソリューションズ株式会社 本社：東京都千代田区)に承継・統合する旨の共同新設分割計画書に同年7月に合意し、同合弁新社を10月に設立しました。

【素材分野】

① ケミカルズセグメント

売上収益は前年同期に比べ1,761億円減少し3,810億円となり、コア営業利益は同505億円減少し146億円の損失となりました。

MMAサブセグメントにおいては、MMAモノマー等の市況に上昇の動きがみられるものの、前年同期比では下落したことにより、売上収益は減少しました。

石化サブセグメントにおいては、エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したことにより販売数量が減少したことに加え、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下したことにより、売上収益は減少しました。

炭素サブセグメントにおいては、原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びコークス等の需要減退に伴う販売数量の減少により、売上収益は減少しました。

当セグメントのコア営業利益は、MMAモノマー等の市況下落、石化製品における定期修理の影響拡大及び原料価格下落に伴う在庫評価損の発生、炭素製品において原料と製品の価格差が縮小したこと等により、減少しました。

当第2四半期連結累計期間に当セグメントにて実施または発生した主な事項は、以下のとおりです。

- ・三菱ケミカル㈱の連結子会社である日本ポリプロ(株)は、収益力の強化に向けた構造改革の一環として、同社の五井工場（所在地：千葉県市原市）におけるポリプロピレン製造設備1系列（生産能力：7万トン／年）を2021年1月（予定）に停止することを2020年7月に決定しました。
- ・三菱ケミカル㈱の連結子会社である日本ポリエチレン(株)は、同社の鹿島工場（所在地：茨城県神栖市）における高圧法低密度ポリエチレン製造設備1系列（生産能力：6.2万トン／年）を2021年5月（予定）に停止し、同製品の生産を川崎工場（所在地：神奈川県川崎市）に集約するとともに、事業再構築の一環として川崎工場で生産しているエチレン酢酸ビニルコポリマー（EVA）の生産・販売を終了することを2020年9月に決定しました。

② 産業ガスセグメント

売上収益は前年同期に比べ381億円減少し3,814億円となり、コア営業利益は同87億円減少し356億円となりました。

産業ガスにおいては、エレクトロニクス関連向けガスが堅調に推移したものの、国内外の需要が総じて減退したことにより、売上収益及びコア営業利益はともに減少しました。

【ヘルスケア分野】

ヘルスケアセグメント

売上収益は前年同期に比べ15億円減少し1,940億円となり、コア営業利益は同31億円増加し134億円となりました。

医薬品においては、国内医療用医薬品は薬価改定の影響による減少等があったものの、重点品の販売数量が伸長したことにより、売上収益は前年同期並みとなりました。コア営業利益は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等による販売費や研究開発費の減少により増加しました。なお、Novartis Pharma社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア®」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったためロイヤリティ収入の一部について、IFRS第15号に従い売上収益の認識を行わないこととしました。当第2四半期連結累計期間におきましても、仲裁手続きが継続しているため、ロイヤリティ収入の一部について、売上収益の認識を行っておりません。

当第2四半期連結累計期間に当セグメントにて実施または発生した主な事項は、以下のとおりです。

- ・田辺三菱製薬(株)は、エダラボン（一般名）（米国製品名：「ラジカヴァ®」）の筋萎縮性側索硬化症（ALS）の適応症について、日本・韓国・米国・カナダ・スイス・中国に次ぎ、2020年7月にインドネシアで承認を取得しました。

【その他】

売上収益は前年同期に比べ139億円減少し748億円となり、コア営業利益は4億円増加し58億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、新型コロナウイルス感染症の影響による不測の事態への備え等により現金及び現金同等物を確保しましたが、売上収益減少に伴う営業債権の減少やニューロゲーム社（イスラエル）の無形資産にかかる減損等により、前連結会計年度末に比べ529億円減少し5兆792億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月13日に公表しました2021年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

本日（2020年11月4日）公表の『2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ』も併せてご覧ください。

2021年3月期通期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当り当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A) (2020年5月13日発表)	33,340	1,400	1,370	770	490	34 51
今回修正予想 (B)	31,750	1,400	40	△340	△590	△41 54
増減額 (B)－(A)	△1,590	－	△1,330	△1,110	△1,080	－
増減率 (%)	△4.8%	－	△97.1%	－	－	－
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	35,805	1,948	1,443	866	541	38 08

税引前利益 前回発表予想 1,140億円 今回修正予想 △160億円

・コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

コア営業利益につきましては、ケミカルズセグメントにおいてMMA等の下期の市況が期初の想定を下回る見込みであるものの、ヘルスケアセグメント等において販売費や研究開発費が減少する見込みであることにより、前回発表予想からの修正はありません。営業利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、当第2四半期連結会計期間にニューロゲーム社（イスラエル）が開発を進めているパーキンソン病の治療薬に係る無形資産（仕掛研究開発費）の減損損失845億円を計上したことに加えて、下期にもルーサイト・インターナショナル社（アメリカ）のボーモント工場閉鎖に伴う減損損失や停止関連費用の構造改革費用等の計上が想定されることにより、前回発表予想を下回る見込みです。

なお、前回発表予想は、コロナ禍の収束時期が見通せない中で、当連結会計年度においても厳しい状況が続くものの第3四半期連結会計期間以降は回復傾向に転じるとの前提に基づき、各事業の需要減少リスク等について織り込んで作成しております。今回修正予想において当該前提に重要な変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
継続事業		
売上収益	1,827,690	1,504,816
売上原価	△1,311,322	△1,090,763
売上総利益	516,368	414,053
販売費及び一般管理費	△396,333	△358,720
その他の営業収益	12,750	14,852
その他の営業費用	△10,321	△99,373
持分法による投資利益	8,093	1,062
営業利益(△損失)	130,557	△28,126
金融収益	5,383	3,702
金融費用	△13,512	△12,376
税引前四半期利益(△損失)	122,428	△36,800
法人所得税	△37,609	△3,124
継続事業からの四半期利益(△損失)	84,819	△39,924
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	16,892	—
四半期利益(△損失)	101,711	△39,924
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	81,318	△49,687
非支配持分	20,393	9,763
四半期利益(△損失)	101,711	△39,924
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	45.37	△34.99
非継続事業	11.90	—
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	57.27	△34.99
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	41.82	△34.99
非継続事業	10.94	—
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	52.76	△34.99

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益(△損失)	101,711	△39,924
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△8,124	△481
確定給付制度の再測定	1,603	14,069
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△52	△63
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△6,573	13,525
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△62,435	13,903
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動の有効部分	△190	95
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△5,680	△223
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△68,305	13,775
税引後その他の包括利益合計	△74,878	27,300
四半期包括利益	26,833	△12,624
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	28,767	△31,613
非支配持分	△1,934	18,989

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	228,211	402,987
営業債権	698,516	645,529
棚卸資産	606,505	590,340
その他の金融資産	117,628	35,627
その他の流動資産	90,140	81,242
小計	1,741,000	1,755,725
売却目的で保有する資産	8,281	4,204
流動資産合計	1,749,281	1,759,929
非流動資産		
有形固定資産	1,742,216	1,760,666
のれん	616,769	630,295
無形資産	510,575	420,072
持分法で会計処理されている投資	169,958	167,942
その他の金融資産	226,488	221,484
その他の非流動資産	42,813	48,526
繰延税金資産	74,049	70,284
非流動資産合計	3,382,868	3,319,269
資産合計	5,132,149	5,079,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	398,061	328,116
社債及び借入金	727,307	805,799
未払法人所得税	19,287	22,201
その他の金融負債	359,540	220,312
引当金	7,968	9,439
その他の流動負債	122,575	133,141
小計	1,634,738	1,519,008
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	1,761	583
流動負債合計	1,636,499	1,519,591
非流動負債		
社債及び借入金	1,555,947	1,671,140
その他の金融負債	88,533	86,722
退職給付に係る負債	125,611	112,344
引当金	31,893	30,880
その他の非流動負債	80,840	97,432
繰延税金負債	161,997	147,518
非流動負債合計	2,044,821	2,146,036
負債合計	3,681,320	3,665,627
資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	176,715	177,140
自己株式	△63,485	△63,358
利益剰余金	1,071,260	1,019,375
その他の資本の構成要素	△64,268	△61,115
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,170,222	1,122,042
非支配持分	280,607	291,529
資本合計	1,450,829	1,413,571
負債及び資本合計	5,132,149	5,079,198

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金
2019年4月1日残高	50,000	321,477	△63,560	1,073,873
四半期利益(△損失)	—	—	—	81,318
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	81,318
自己株式の取得	—	—	△11	—
自己株式の処分	—	△74	74	—
配当	—	—	—	△28,398
株式報酬取引	—	182	—	—
連結子会社の株式報酬取引	—	—	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△973	—	—
企業結合または事業分離	—	2,202	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	351
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1,528
所有者との取引額等合計	—	1,337	63	△26,519
2019年9月30日残高	50,000	322,814	△63,497	1,128,672

	その他の資本の構成要素				合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジの 公正価値の 純変動の 有効部分				
2019年4月1日残高	51,500	—	△55,530	187	△3,843	1,377,947	647,907	2,025,854
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	81,318	20,393	101,711
その他の包括利益	△6,110	1,109	△47,357	△193	△52,551	△52,551	△22,327	△74,878
四半期包括利益	△6,110	1,109	△47,357	△193	△52,551	28,767	△1,934	26,833
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△11	—	△11
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△28,398	△15,499	△43,897
株式報酬取引	—	—	—	—	—	182	—	182
連結子会社の株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	△17	△17
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△973	△363	△1,336
企業結合または事業分離	—	—	—	—	—	2,202	3,361	5,563
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	351	536	887
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△419	△1,109	—	—	△1,528	—	—	—
所有者との取引額等合計	△419	△1,109	—	—	△1,528	△26,647	△11,982	△38,629
2019年9月30日残高	44,971	—	△102,887	△6	△57,922	1,380,067	633,991	2,014,058

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金
2020年4月1日残高	50,000	176,715	△63,485	1,071,260
四半期利益(△損失)	—	—	—	△49,687
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	△49,687
自己株式の取得	—	—	△7	—
自己株式の処分	—	△72	134	—
配当	—	—	—	△17,045
株式報酬取引	—	△47	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	544	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	79
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	14,768
その他の資本の構成要素 から非金融資産等への振替	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	425	127	△2,198
2020年9月30日残高	50,000	177,140	△63,358	1,019,375

	その他の資本の構成要素					親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジの 公正価値の 純変動の 有効部分	合計			
2020年4月1日残高	38,335	—	△102,773	170	△64,268	1,170,222	280,607	1,450,829
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	△49,687	9,763	△39,924
その他の包括利益	△2,154	14,017	6,121	90	18,074	18,074	9,226	27,300
四半期包括利益	△2,154	14,017	6,121	90	18,074	△31,613	18,989	△12,624
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△7	—	△7
自己株式の処分	—	—	—	—	—	62	—	62
配当	—	—	—	—	—	△17,045	△5,887	△22,932
株式報酬取引	—	—	—	—	—	△47	—	△47
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	544	△2,126	△1,582
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	79	△54	25
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△751	△14,017	—	—	△14,768	—	—	—
その他の資本の構成要素 から非金融資産等への振替	—	—	—	△153	△153	△153	—	△153
所有者との取引額等合計	△751	△14,017	—	△153	△14,921	△16,567	△8,067	△24,634
2020年9月30日残高	35,430	—	△96,652	107	△61,115	1,122,042	291,529	1,413,571

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△損失)	122,428	△36,800
非継続事業からの税引前四半期利益	25,585	—
減価償却費及び償却費	119,052	119,906
持分法による投資損益(△は益)	△8,098	△1,062
株式交換差益	△23,922	—
受取利息及び受取配当金	△4,743	△3,546
支払利息	12,719	11,343
営業債権の増減額(△は増加)	84,886	55,904
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,227	16,920
営業債務の増減額(△は減少)	△56,496	△72,736
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△591	1,227
その他	△10,563	77,344
小計	263,484	168,500
利息の受取額	2,075	808
配当金の受取額	21,545	10,946
利息の支払額	△11,557	△9,929
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△24,360	△6,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,187	163,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,929	△121,076
有形固定資産の売却による収入	5,261	13,868
無形資産の取得による支出	△3,225	△6,035
投資の取得による支出	△236,912	△1,703
投資の売却及び償還による収入	220,398	67,995
子会社の取得による支出	△1,429	△359
子会社の売却による収入	2,836	1,891
事業譲受による支出	—	△374
定期預金の純増減額(△は増加)	217	4,470
その他	12,068	△1,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,715	△43,045

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△107,941	67,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△45,000	53,000
長期借入れによる収入	57,127	142,505
長期借入金の返済による支出	△43,682	△115,032
社債の発行による収入	29,812	49,753
社債の償還による支出	△50,000	△10,000
リース負債の返済による支出	△16,028	△14,649
自己株式の純増減額(△は増加)	△11	△6
配当金の支払額	△28,398	△17,045
非支配持分への配当金の支払額	△15,512	△5,941
非支配持分からの子会社持分取得による 支出	△1,367	△98,177
その他	3	1,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,997	52,584
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	△11,383	2,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△86,908	174,891
現金及び現金同等物の期首残高	321,541	228,211
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,029	△257
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	606	123
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	19
現金及び現金同等物の四半期末残高	234,210	402,987

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	機能商品	ケミカルズ	産業ガス	ヘルスケア	計				
売上収益									
外部収益	566,798	557,061	419,475	195,544	1,738,878	88,812	1,827,690	—	1,827,690
セグメント間 収益	31,718	25,505	3,406	383	61,012	86,696	147,708	△147,708	—
合計	598,516	582,566	422,881	195,927	1,799,890	175,508	1,975,398	△147,708	1,827,690
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	40,176	35,856	44,276	10,296	130,604	5,434	136,038	△5,280	130,758

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント損益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,632百万円及びセグメント間消去取引352百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。
- 4 当社は、2020年3月期において(株)LSIメディエンス及びその子会社等の事業を非継続事業に分類しており、セグメント情報は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	機能商品	ケミカルズ	産業ガス	ヘルスケア	計				
売上収益									
外部収益	473,646	381,075	381,405	194,019	1,430,145	74,671	1,504,816	—	1,504,816
セグメント間 収益	25,756	23,495	3,099	333	52,683	89,309	141,992	△141,992	—
合計	499,402	404,570	384,504	194,352	1,482,828	163,980	1,646,808	△141,992	1,504,816
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	21,484	△14,619	35,579	13,499	55,943	5,787	61,730	△7,091	54,639

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント損益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,729百万円及びセグメント間消去取引△362百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。
- 4 第1四半期連結会計期間より、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成しております。
- 5 当第2四半期連結会計期間より、クオリカプス(株)及びその子会社等の所管セグメントをヘルスケアセグメントから機能商品セグメントに変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益(△損失)への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
セグメント損益	130,758	54,639
固定資産売却益	1,921	8,583
関係会社株式売却益	524	909
減損損失戻入益	1,720	—
減損損失 (注)	△1,358	△86,953
固定資産除売却損	△1,065	△3,230
特別退職金	△1,028	△47
その他	△915	△2,027
営業利益(△損失)	130,557	△28,126
金融収益	5,383	3,702
金融費用	△13,512	△12,376
税引前四半期利益(△損失)	122,428	△36,800

(注) 当第2四半期連結累計期間において認識した減損損失の主な内容は、以下のとおりです。

田辺三菱製薬株によるニューロゲーム社の買収により取得した技術に係る無形資産

事業環境の変化に伴い収益性が低下する見込みとなり、市場調査を踏まえ計画を見直した結果、将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回ったため、技術に係る無形資産(仕掛研究開発費)について減損損失△84,534百万円を計上いたしました。なお、要約四半期連結財政状態計算書に表示されている減損後の当該無形資産の帳簿価額は、43,272百万円であります。

(重要な後発事象)

1. 米国テキサス州におけるMMAモノマー及びMAA工場の生産終了・閉鎖の決定

当社は2020年11月4日開催の執行役会議において、MMA事業の競争力強化と供給体制の最適化を図るため、当社の連結子会社である三菱ケミカル㈱の子会社であるルーサイト・インターナショナル社（アメリカ）のボーモント（テキサス州）におけるMMAモノマー及びMAA生産を終了し、工場を閉鎖することを決定しました。

(1) 生産終了予定日

2021年2月28日

(2) 業績への影響

第3四半期連結会計期間以降、本工場設備の減損損失や停止関連費用として約230百万米ドル（約240億円）の発生を見込んでおりますが、詳細につきましては、現在、算定中であります。

(注) 日本円への換算は、1ドル=105.55円（10月1日付）を使用しております。

2. 三菱ケミカル㈱によるキャリアチェンジ・サポート・プログラムの実施の決定

当社の連結子会社である三菱ケミカル㈱は、現在、新たな事業ポートフォリオに相応しい体制とするべく、組織および機能の再編を検討しており、また、人材の多様化・流動化やグローバル競争の激化等の環境変化を踏まえた新たな人事制度を今後全社に導入していくことを予定しています。

こうした中、自身の専門性や強みを当社グループ外で発揮することを希望する従業員の自律的キャリアを支援するため、2020年10月30日開催の同社の取締役会において、キャリアチェンジ・サポート・プログラムを実施することを決定しました。

施策の概要

応募資格：2021年3月31日時点で満50歳以上かつ勤続10年以上の管理職社員及び管理職再雇用社員

募集人数：特に定めない

募集期間：2020年12月1日～2020年12月18日（予定）

退職日：2021年3月末、4月末、5月末、6月末のいずれかから本人が選択

支援内容：退職一時金に特別加算を行うとともに特別賞与を支給する。

また、希望者に対しては、キャリア支援会社によるサポートを実施する。